



# 中沢ひろたか県議会リポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

市民だれもが安心して住める街づくりに力を注いでいる中沢裕隆県議(柏市選出、2期)は9月定例県議会で登壇し、県が抱える課題の現状や今後の施策について森田知事や県警本部長、県教育長らに質問しました。柏市の犯罪・交通事故発生状況についての中沢県議の質問に対して、県警本部長は「8月末現在の警察署別集計ですれもワースト1位」と答弁、これまでも事件事故が多発してきた柏市の状況が改善していないことが明らかになりました。中沢県議の質問と担当者の答弁を特集します。

## 刑法犯の認知件数

### 8月末の警察署別統計

## 交通事故発生状況

# 柏市、県内ワースト1位

## 9月定例県議会 一般質問



9月定例県議会で一般質問を行う中沢裕隆県議

中沢議員 千葉県における刑法犯の発生件数は、県警による検挙・抑止活動をはじめ、関係機関や地域住民の方々による防犯パトロールなど、様々な取り組みの結果、平成15年から14年連続で減少している。柏市においても、全国で初めてとなる「振り込め詐欺等被害防止条例」を制定し、まち全体で被害防止に取り組むなど、各種治安対策を講じてきた。しかしながら、柏警察署管内における昨年の刑法犯の発生件数は、一昨年に比べると増加しており、県内ワースト1位という結果だった。

一方、交通事故の関係では過去5年間に於ける柏市の人身事故発生件数と負傷者数は、いずれも県内ワースト1位で、おとくになりなられた方の人数についても常に県内ワースト1位であり、極めて厳しい交通情勢と言わざるを得ない。

このように柏市を取り巻く事件事故の環境は大変厳しいことから、柏市における警察力をさらに強化する必要があると考えており、これまで柏市に警察署を新設する必要があると訴え続けてきた。しかしながら、「署員数の確保が困難」「厳しい財政状況」とのこと、残念な別ではワースト1位となっております。

がら新設の実現に至っていない。そこだろうか。柏市における犯罪及び交通事故の発生状況はどうか。警察本部長 本年8月末現在の柏警察署における刑法犯認知件数は、2503件で、前年同期に比べ17件減少しているものの、警察署別ではワースト1位となっております。

前年同期と比べて認知件数が増加した主な犯罪については、強盗、自動車盗、すりなどであり、依然として発生している特殊詐欺の認知件数は、本年8月末現在72件で、前年同期に比べ42件増加しており、警察署別ではワースト1位であります。また、本年8月末現在の柏市内における交通事故の発生状況につきましては、発生件数803件、死者数6人、負傷者数941人で、警察署別では、発生件数、死者数、負傷者数のいずれもワースト1位となっております。

自治体や防犯ボランティア団体等と協働した警戒活動など、官民一体となった抑止対策を推進し、安全・安心の確保に努めています。交通事故防止対策では、年齢層に応じた参加・体験型の交通安全教育、事故に直結する違反に対する交通指導取締り等の街頭活動、事故発生場所等の危険力所に対する交通安全施設の整備など、関係機関・団体等と連携した各種対策を講じているところであります。

## 高齢者への対策を要望

中沢議員 本年の犯罪や交通事故の情勢を踏まえ、今後の対策及び柏市における警察力の強化について、どのように考えているか。警察本部長 県警では犯罪抑止対策として、犯罪情勢を的確に分析した上で、特に地域住民等が身近で不安を感じている電話de詐欺や自動車盗、侵入窃盗などの検挙・抑止活動に加え、自治体や防犯ボランティア団体等と協働した警戒活動など、官民一体となった抑止対策を推進し、安全・安心の確保に努めています。交通事故防止対策では、年齢層に応じた参加・体験型の交通安全教育、事故に直結する違反に対する交通指導取締り等の街頭活動、事故発生場所等の危険力所に対する交通安全施設の整備など、関係機関・団体等と連携した各種対策を講じているところであります。また、柏警察署につきましては、平成13年度から平成29年度までに、県下最多の96人を増員配置したほか、交番の新設や移動交番車の複数配置などにより、警察力の強化を図ってきました。引き続き、犯罪や交通事故の情勢を的確に踏まえ、機動捜査隊、交通機動隊、自動車警ら隊などの県本部執行隊等による応援体制の強化や、移動交番車の効果的な運用等により、適宜、警察力の強化を図りつつ、地域における安全・安心の確保に努めてまいりたいと考えております。

**中沢ひろたかプロフィール**

□略歴□

- 昭和45年6月19日生まれ
- 麗澤高校・大学卒業
- 柏市議会議員(3期)
- 千葉県議会議員(2期目)
- 総合企画水道常任委員会委員長
- 総務防災常任委員会委員長

□現職□

- 環境生活警察常任委員会委員長

# 小学校英語教育の推進へ 核になる教員確保

中沢議員 来年度から小学校で外国語の授業がいよいよ始まることになる。ほとんどの学校が英語を教えることになると思うが、新たな教科が一つ加わるわけだから、そのことだけでも先生方の負担が増えるのではないだろうか。

文科科学省が平成27年2月に実施した「小学校教育活動実施状況調査」の結果によると、「自信を持って指導している」という回答は約3分の1にとどまり、約3分の2の教員が「英語が苦手」と回答している。

このような状況の中で、新しい教科に対応するためには、人的な面での配慮が必要なのではないかと考える。そこで、各教員が全教科を担当しており、英語についても担任が授業を行うことになり、英語を専門に教える教員を置くことを、英語の授業を充実させるための一つの方策として考えており、平成29年度、県内の

小学校2校に2名を配置しました。

配置した学校においては、この教員を中心に、それぞれの学年の発達段階に合わせた、質の高い授業を展開しており、これらの取り組みの成果について、今後県内で共有していきたいと考えております。

中沢議員 小学校で英語が導入されるに当たり、専門性を有する核となる教員の確保が必要だと思いがどうか。

教育長 県教育委員会としては、小学校での英語教育を推進していく上で、専門性を有する教員を確保す

ることは、重要であると認識しております。

小学校での英語の導入に向け、平成28年度実施の教員採用選考から「小学校英

成29年度は29名を採用したところです。

さらに、今後は、各市町村や学校の状況に応じて、中学校の英語の教員を人事

語教育推進枠」を設け、小学校の免許状とともに英語の免許状を有する専門性の高い教員の確保に努めており、平

異動や兼務させることにより、小学校に配置することにも進めてまいります。

中沢議員 教員の

## 県いじめ防止基本方針 道徳教育の記述を充実

中沢議員 「千葉県のいじめ防止基本方針」の改定において、道徳教育に関する事項が盛り込まれる予定はありますか。

教育長 道徳教育を通じて、社会的

外国語教育に対する意識をあらためて、しっかりと外国語教育を推進してほしい。

改定案においては、いじめ防止に係る道徳教育の重要性について記述を充実させるとともに、道徳科の指導に当

たつて、児童生徒がいじめの問題を自分のこととして捉え、考え、議論することにより、いじめに正面から向き合うことができるよう、実践的な取り組みを行うことが重要であることなどを新たに盛り込んでおります。

県教育委員会としては、道徳の教科化やいじめ防止基本方針の改定を踏まえ、道徳教育の一層の充実に努めてまいります。

ご理解と御協力をいただきながら用地の取得に努め、また、柏市と連携を図り、事業を推進してまいります。

中沢議員

## 都市計画道箕輪青葉台線 増尾までの用地取得へ

中沢議員 都市計画道路箕輪青葉台線の進捗状況はどうか。

県土整備部長 都市計画道路箕輪青葉台線は、旧柏市南部と旧沼南町を結ぶ幹線道路であり、新市の一体性を高める重要な道路として、合併時の新市建設計画に位置付けられております。

これまでに、東武野田線の

立体交差部を含む約0.8キロを供用開始しており、続いて事業に着手した柏市大津ヶ丘から増尾までの約0.8キロについて、測量や道路の設計を行い、現在は物件調査を実施しているところです。

今後とも、地元の皆様の

これまで、主な力所としては、柏市関場町地先や増尾地先など3カ所、延べ約1350坪の歩道整備を実施したところです。

現在は、増尾3丁目地先で延長約130坪の歩道整備及び逆井3丁目地先で県道白井流山線との交差点の改良を行っているところであります。

今後とも、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら、事業の推進に努めてまいります。

これは、地元の実例であるが、松戸市立病院に搬送されて、手一杯の場合、ネットワーク上で柏市の慈恵医大柏病院に搬送される。しかし、この慈恵医大柏病院でも十分な体制が取れず、実は、慈恵の本院、東京に搬送される例が2桁に上っている。このような実情を鑑み、ぜひとも、この医療センターの整備にしっかりと取り組んでいただきたい。

中沢議員 県道市川柏線について、交通の円滑化や安全対策への取り組み状況はどうか。

県土整備部長 県道市川柏線については、歩道の未整備区間がある上、交差点での渋滞や交通事故が発生していることから、歩行者の安全確保や交通の円滑化を図るため、歩道整備や交差点改良などを行っております。

中沢議員 県民が、出産等の不安がなく、安心して暮らせるようにするために、高度の医療が行える周産期医療体制の整備など、周産期医療の充実が図られることが重要である。

県には、周産期母子医療センターの整備について、ぜひ積極的に支援していただくよう要望する。

本県の周産期医療については、現在、この2病院を含め、12か所の周産期母子医療センターと5か所の母体搬送ネットワーク連携病院を中心とした体制となっておりますが、同センターの今後の整備については、地域における医療ニーズ、病院の整備状況や意向などを踏まえながら

## 周産期母子医療センター 整備へ積極的に支援を

中沢議員 東葛北部医療圏における周産期医療体制の現状はどうか。また、周産期母子医療センターの今後の整備について、どのように考えているのか。

知事 東葛北部医療圏において、昨年度、松戸市立

病院を分娩リスクの高い妊娠や高度な新生児医療に対応できる地域周産期母子医療センターに認定し、東京慈恵会医科大学附属柏病院を母体搬送ネットワーク連携病院に位置付けております。

東葛北部医療圏において、昨年度、松戸市立

東葛北部医療圏において、昨年度、松戸市立

東葛北部医療圏において、昨年度、松戸市立

東葛北部医療圏において、昨年度、松戸市立

千葉県・柏市についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

中沢裕隆 政務調査 事務所 TEL.04(7173)4791

〒277-0061 柏市東中宿3-1-2 アーバン千代田店舗C